

海からゴミを無くすために

上田染谷丘高等学校 1年 前原 日向

11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



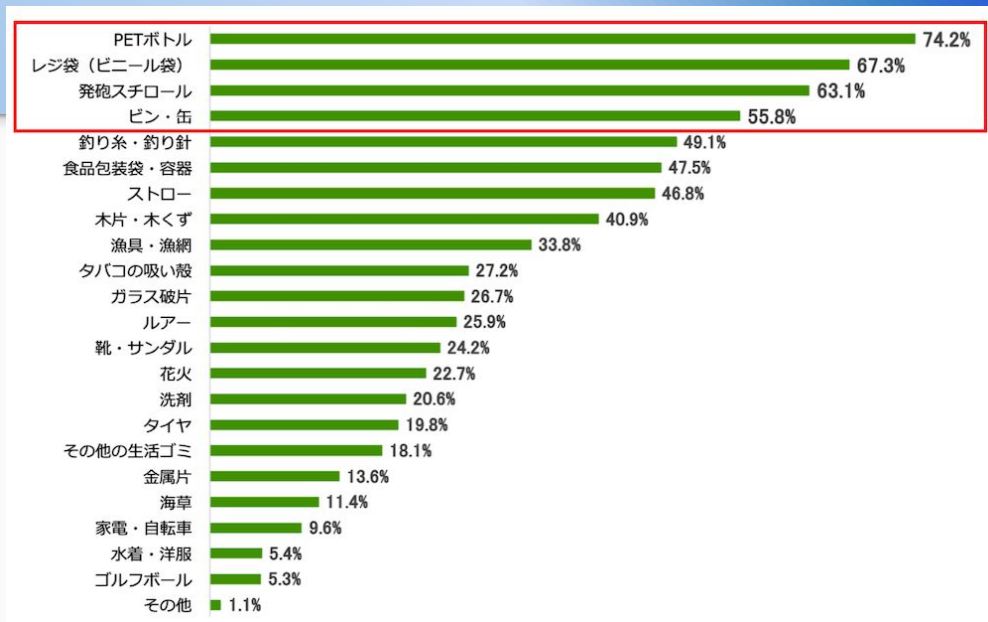
テーマ設定の理由

- ・学校の授業で海のマイクロプラスチックの量がとても増えてきていたり
浜辺でのゴミの量が増えてきていることを何回も聞いたため。
- ・魚が食べられなくなったら悲しいから



現状

グラフから分かる通りペットボトルやビニル袋などの日常的に使用しているものが多く捨てられてしまっている。プラスチックは自然に分解されるまでにかかりの時間がかかってしまうため、海に長い間残ってしまう。



(日本財団から持ってきました)

課題



- ・2050年にはゴミの量が魚の数を超えると言われていて、そうなるとおそらく漁獲量も減少し漁師などの仕事にも大きく影響してくる。
- ・プラスチックを使用した製品の利用が増えていること

自分の考え

ゴミ箱の数が増えればペットボトル等のポイ捨ての削減につながるのではないかと思ったが、そうなるとゴミを回収する業者さんの負担が大きくなってしまふことからこの方法はあまり良くないと思った。

最も多く捨てられているペットボトルゴミを減らすために一人一人が意識してできることをやっていくべきだと思う。



解決策

なにか飲み物を買うのではなく、自分の家からなるべく水筒などを持参してプラスチックが使われているものを使わないようにする。

マイボトルを使いたくなるようなポスターを掲示する。

コンビニなどで安い水筒を販売し、その場で中身を注げるようにする。(ドリンクバー的な)

イメージ図 →



10代からの提言



プラスチックを使用した製品の利用を減らすような工夫をすることが重要だと感じた。

ペットボトルのポイ捨てが減るようにリサイクルするとポイントが溜まっていく、みたいなことをやってもペットボトルを捨てるに行くきっかけになるのでいいと思う。

水筒を持参する意識を持たせるようなポスターもあってほしいと思う

感想

自分で解決するための方法を考えたことはあまりなかったのでいい経験になった。

自分が考えた内容を言葉にして表すのがめっちゃめっちゃ難しかった。

